

平成31年度 【教科シラバス表】

教科名(公民) 科目名(現代社会) (2)単位 (1)学年 履修規定(必修)

担当者(宮澤(薫)・中村(仁)・西澤・奥田)

1. 教科書、副教材

教科書	『現代社会』(実教出版)
副教材	『フォーラム現代社会2018』(東京法令出版)

2. 科目の達成目標

人間の尊重と科学的な探求の精神に基づき、広い視野に立って現代の社会の人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断するとともに、自ら人間としてのあり方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力を育てる。

3. 学習の計画

		進行計画	授業概要	考查範囲	時間(予定)		
前期	4月	第1編 現代社会の諸課題 第1章 地球環境 第2章 科学技術の発達と生命	現代に生きる私たちの課題について、項目別に考察していく。 私たちの生活は、政治とどのようにかかわっているかについて考え、国家にはどのような背景があるかを考える。	第1回	教科書及び関連資料	10	
	5月						
	6月	第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己形成 第2章 他者と共に生きる倫理 第3章 現代の国家と民主政治 第4章 日本国憲法と民主政治 第5章 国際政治の動向		現代の経済生活が私たちの生活とどのように関係しているのかを考え、経済の基本的な仕組みを理解する。	第2回	教科書及び関連資料	10
	7月						
	8月				第3回	教科書及び関連資料	14
	9月						
後期	10月	第6章 現代の経済社会と政府の役割	通貨体制や経済体制、貿易体制を中心に国際経済のしくみを学び、国際経済が私たちの生活とどのように関係しているのか、先進国の果たす役割は何かを考え、理解する。	第4回	教科書及び関連資料	14	
	11月						
	12月	第7章 経済活動のあり方と国民福祉 第8章 国際経済の動向		第5回	教科書及び関連資料	22	
	1月						
	2月						
	3月						
評価の観点・方法		<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な知識の定着 ○複数の図やグラフを通して考察できたか。 ○自ら意欲的に学習を深められたか。 ○定期考査を主に、授業態度・出欠席の状況・課題提出状況など総合的に評価する。 ○授業の項目によっては、レポートを課題として評価の対象とする。 					
学習への注意・助言		<ul style="list-style-type: none"> ○教科書を熟読し、基礎的知識を定着させよう。 ○疑問点を見つけ、解決する努力をしよう。 ○日頃から新聞などに目を通し社会情勢を把握しよう。 ○長期休業等に出された課題に取り組めます。 					